

各地区薬剤師会会長 殿

公益社団法人福岡県薬剤師会
常務理事 濱 寛

令和 6 年度福岡県後期高齢者医療広域連合における
適正服薬推進事業の実施について（依頼）

平素より本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、福岡県後期高齢者医療広域連合より標記事業について別添のとおり協力依頼の連絡がありましたのでお知らせいたします。

本事業は、後期高齢者医療制度の被保険者のうち、重複・多剤服薬や併用薬に注意が必要な可能性のある高齢者等に対し、服薬状況や薬のリスクについての通知にて、薬局や医療機関への相談を促し、適正な服薬の推進を図ることを目的としております。

通知書を持参された患者から薬についてご相談があった際には、必要に応じて医師と情報連携していただくなどのご対応をお願いいたします。また、対応した内容に関するアンケートへの回答も併せてお願いいたします。

ご多忙中のところ大変恐縮ですが、昨年度の事業実施における効果検証レポートと併せまして貴会会員へご周知のほどよろしくをお願いいたします。なお、同様の通知が福岡県医師会を通じて県内の医療機関に対しても周知されていることを申し添えます。

記

■事業の流れ（※詳細【別添 1】参照）

- ①福岡県後期高齢者医療広域連合の委託業者が、重複・多剤服薬等の可能性がある高齢者を抽出し、被保険者へ通知書を送付（今年度：約 2,000 人）
- ②対象となった高齢者（患者）が薬局へ相談
- ③薬剤師は通知内容を確認し、必要性があれば医師と情報連携
- ④相談対応および処方見直し

■実施時期

令和 6 年 9 月下旬発送予定

■実施対象者（75 歳～94 歳・11 剤以上の処方されている方）（※詳細【別添 1】参照）

- ①複数の医療機関から処方があり、重複服薬の疑いがある方
- ②複数の医療機関から処方があり、多剤服薬の疑いがある方
- ③その他、併用服薬に注意が必要な可能性のある方

■対応した内容に関するアンケート（所要時間：2 分程度）



<https://forms.gle/HCEikcvGNcNuGX5w8>

以 上

【別添1】

6福高医健第125号
令和6年9月4日

公益社団法人福岡県薬剤師会
会長 小田 真稔 様

福岡県後期高齢者医療広域連合
広域連合長 月形 祐二



令和6年度福岡県後期高齢者医療広域連合における適正服薬推進事業の実施について（依頼）

平素より当広域連合の事業に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、当広域連合では、後期高齢者の健康保持及び重症化防止の取組の一環として、下記の事業を実施します。
つきましては、貴会の御協力を賜りたいと存じますので、下記について御依頼申し上げます。

記

- 1 事業名
適正服薬推進事業
- 2 依頼事項
 - ・貴会員への「適正服薬推進事業」（別添概要のとおり）の周知
 - ・被保険者から相談があった場合の協力
- 3 その他
 - ・当事業は、医療保険・介護保険に係る事業ではなく、当広域連合が独自に実施するものです。

問合せ先)
福岡県後期高齢者医療広域連合
健康企画課 健康企画係 永尾、満江
TEL 092-707-3029 FAX 092-651-3120
E-mail : tekisei@fukuoka-kouki.jp

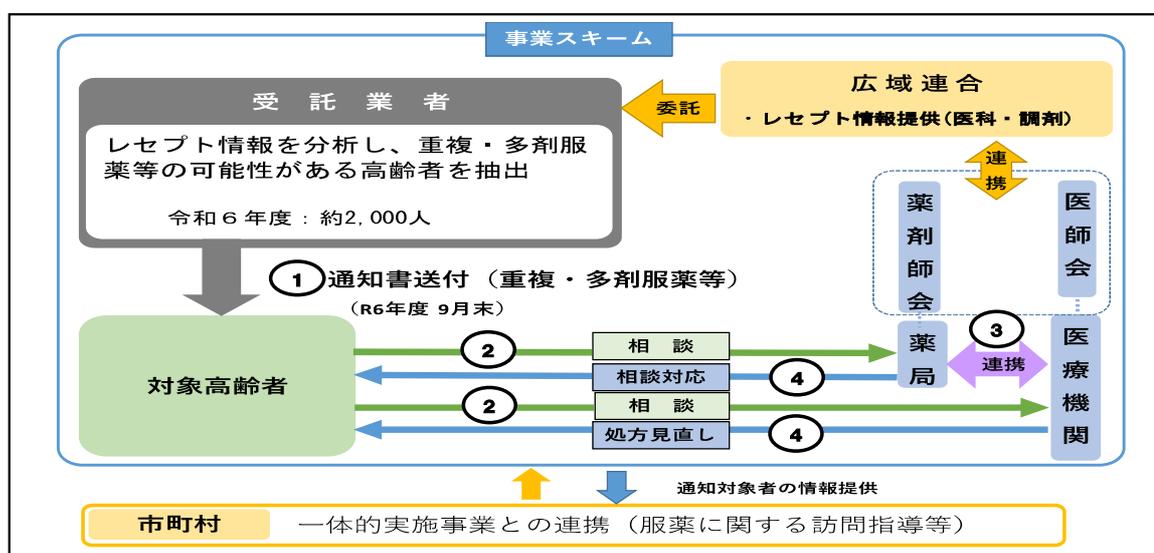
適正服薬推進事業 概要

1 事業目的

後期高齢者医療制度の被保険者のうち、重複・多剤服薬や併用服薬に注意が必要な可能性がある高齢者等に対し、服薬状況や薬のリスクを効果的に伝えることで、薬局や医療機関への相談を促し、適正な服薬の推進を図る。

2 実施内容

- 令和5年12月から令和6年5月診療分の調剤及び医科（入院外）レセプトを分析し、服薬状況に課題が見込まれる方を抽出し、処方された医薬品内容を記載した通知書を送付する。2,000人抽出予定。
(令和6年9月下旬発送予定)
- 通知が届いた対象者には、この通知をもってかかりつけ医師・薬剤師に相談する。
- 通知が届いた対象者が医療機関及び薬局へ相談に来られた際は、服薬内容についてご確認し、薬に関する質問や不安等を確認する。必要に応じて服薬指導や処方の見直し等を行う。



<事業の流れ>

※薬剤師の皆様にご協力いただきたいこと

上記③④において、患者から通知を持って薬についてご相談があった場合に、薬の相談に対応していただくとともに、通知の内容について必要性があれば医師と情報連携していただくなどのご対応をお願いします。

3 実施対象者(75歳から94歳)

①重複服薬の疑いがある方

複数の医療機関から同じ成分または薬効の医薬品が継続的に処方されている方

②多剤服薬の疑いがある方

複数の医療機関から対象者抽出月に、内服薬又は全身作用のある外用医薬品で11剤以上の処方されている方

③その他、併用服薬に注意が必要な可能性がある方

病名との組み合わせ、併用しているお薬との組み合わせ 等

※末期がん(麻薬使用者)、指定難病、HIVにかかっている方は対象外です。

4 その他

- 現在の服薬状況に課題が見込まれる方を抽出しているため、処方の変更が必ずしも必要というわけではありません。
- 通知書を利用して、被保険者が抱える薬に関する困り事を専門家である医師や薬剤師に相談し、適正な服薬につなげる取組みになります。

対象者への案内文（見本）

令和6年9月吉日

被保険者の皆様へ

福岡県後期高齢者医療広域連合
(受託事業者 株式会社 J M D C)

お薬の服用に関するお知らせ（令和6年度）

この度、お薬の種類が多い方や飲み合わせに注意が必要な方に、お知らせをお送りしています。

かかりつけの医療機関 または 薬局に
この通知一式を持参し、お薬の内容を
確認してもらってください。



確認する内容

- ・処方されているお薬の種類が多くないか
- ・お薬の飲み合わせに注意が必要ではないか
- ・規定の用量を超える処方がされていないか

持っていくもの

- ・おくすり手帳
(複数持っている場合は全て)
- ・保険証
- ・この封筒の同封物一式

～注意事項～

- この通知を受け取っても自己判断でお薬をやめたり、減らしたりするのはお止めください。
- 記載されているお薬の情報は最新でない場合がございます。既にお薬の見直しがされた方にも届く場合がございますのでご了承ください。
- どこに相談をすればよいのかわからない場合は、下記までお問合せください。

お問合せ窓口：コールセンター(福岡県後期高齢者医療広域連合業務委託先)
電話番号：〇〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇 (通話料無料)
受付期間：10月1日～10月31日 平日 8時半～18時



医療機関や薬局へ
持参して相談する



お問合せ窓口
電話して相談する



あなたに処方されているお薬の一覧です。

お薬手帳と一緒にこちらの「お薬一覧」をかりつけの医師・薬剤師に見てもらいながら、相談してください。

現在のあなたの
お薬は

18剤

全18剤中18剤まで掲載

| 調剤日 | お薬の効能 | お薬の名前 | 医薬 グループ | 処方機関 | 1日量 | 処方 日数 | 後発 |
|--------|---------------|-----------------------------|------------|------------------------------|-----|----------|----|
| 10月29日 | 抗精神病薬 | [先発] ジブレキサ錠 10mg | A | 公立大学法人 JMDC 大学医学部附属病院 | 2 | 28 | あり |
| 10月29日 | ビグアナイド系 | [後発] メトホルミン塩酸塩錠 250mg「DSEP」 | A | 公立大学法人 JMDC 大学医学部附属病院 | 6 | 28 | なし |
| 10月24日 | アンジオテンシンⅠ受容 | [先発] ミカムロ配合錠 AP | E | 大門あおぞら医院 | 1 | 28 | あり |
| 10月21日 | グリタゾン系 | [先発] アクトス錠 15 | D | 医療法人慈英会 浜松病院 | 1 | 30 | あり |
| 10月20日 | 抗うつ薬および気分安定薬 | [先発] サインバルタカプセル 30mg | C | 医療法人社団 松島会 東京芝大門内科・循環器科クリニック | 3 | 28 | なし |
| 10月20日 | 抗不整脈薬 | [先発] タンボコール錠 50mg | B | 医療法人社団 芝会ジェイクリニック | 6 | 30 | あり |
| 10月19日 | 尿失禁用製剤 | [先発] ベタニス錠 50mg | D | 医療法人慈英会 浜松病院 | 1 | 14 | なし |
| 10月17日 | 便秘薬 | [後発] センノシド錠 12mg「YD」 | B | 医療法人社団 芝会ジェイクリニック | 3 | 14 | なし |
| 10月15日 | 便秘薬 | [準先発] プルゼニド錠 12mg | D | 医療法人慈英会 浜松病院 | 2 | 28 | あり |
| 10月13日 | 催眠鎮静薬 | [先発] マイスリー錠 10mg | B | 医療法人社団 芝会ジェイクリニック | 1 | 14 | あり |
| 10月11日 | 催眠鎮静薬 | [後発] ソルピデム酒石酸塩錠 5mg「AA」 | C | 医療法人社団 松島会 東京芝大門内科・循環器科クリニック | 2 | 14 | なし |
| 10月10日 | 利尿薬 | [後発] アゾセמיד錠 30mg「JG」 | B | 医療法人社団 芝会ジェイクリニック | 1 | 30 | なし |
| 10月10日 | カリウム保持性利尿薬単味 | [後発] スピロノラクトン錠 25mg「KK」 | D | 医療法人慈英会 浜松病院 | 1 | 28 | なし |
| 10月7日 | 全身性抗ヒスタミン薬 | [先発] ルパフィン錠 10mg | B | 医療法人社団 芝会ジェイクリニック | 1 | 21 | なし |
| 10月5日 | 全身性抗ヒスタミン薬 | [先発] ジルテック錠 10 | C | 医療法人社団 松島会 東京芝大門内科・循環器科クリニック | 1 | 30 | あり |
| 10月3日 | 非ステロイド性抗炎症薬お | [先発] ロキソニン錠 60mg | A | 公立大学法人 JMDC 大学医学部附属病院 | 3 | 30 | あり |
| 10月3日 | 局所用の抗リウマチ薬および | [先発] モーラステープ L40mg | A | 公立大学法人 JMDC 大学医学部附属病院 | 56 | 1 | あり |
| 10月2日 | 局所用の抗リウマチ薬および | [先発] モーラスバップ XR120mg | A | 公立大学法人 JMDC 大学医学部附属病院 | 14 | 1 | あり |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

お薬相談の際はこの紙をお忘れなく!



お薬を見直して
ずっと良い関係

病気が増えると、お薬も増えていきます。一つ一つのお薬ならば大丈夫なことも、多剤になっていくと体に予期せぬ症状が現れることがあります。これを機会に多くなたお薬の意味を理解するきっかけにさせていただけたら幸いです。

行く日を下記にご記入ください!

かかりつけ医師・薬剤師にご相談ください

相談に行く日: 月 日

相談する病院・薬局は、
 市。

私たちは、あなたの健康な暮らしを応援しています

JMDC健康保険組合 〒105-0012 東京都港区芝大門2-5-5

あなたの健康に関する
大切なお知らせです

〒105-0012
東京都港区芝大門2-5-5 シバダイモンビルディング1200階
医療 順子 様

重要

今すぐ内容をご確認ください



お知らせ作成日 2020年 11月2日
000001#



<差出人>

〒105-0012
東京都港区芝大門2-5-5 シバダイモンビルディング1200階
JMDC健康保険組合

医療監修：東京大学大学院
医学系研究科 老年病学教授
秋下 雅弘 先生



少しでも当てはまる人は要注意! 今すぐ中面をチェック

⚠️ かかりつけの医師・薬剤師に「このお知らせ」と「お薬手帳」を持ってご相談ください。

このお知らせを手にしたあなたへ

このお知らせは、服用しているお薬の数や種類の多い方、または、飲み合わせや長期服用により注意が必要なお薬がある方にお送りしています。かかりつけ医師・薬剤師に確認してもらいましょう。なお、自己判断での服薬中止は絶対にしていただきません。



お薬の多い方や長期服用に注意を要する方へ

処方されたお薬の飲み合わせによる相互作用や、長期に服用することで好ましくない症状や意図していない徴候（有害事象）が現れることがあります。その有害事象に対してさらにお薬を増やす前に、現在処方されているお薬を総合的に見直し、飲み合わせも確認してもらいましょう。



あなたのお薬一覧は裏面にあります

かかりつけ医師・薬剤師の方へ 以下の情報は、お薬手帳には記載のない患者様の医療情報が含まれます。治療、処方への参考としていただければ幸いです。

受診した医療機関と処方を受けた薬局 2020年10月1日～10月30日、8件中5件を表示しています

| 医薬グループ | 医療機関名 | 薬局名 |
|--------|------------------------------|------------------------------------|
| A | 公立大学法人 JMDC大学医学部附属病院 | JMDCドラッグ薬局浜松駅前店 有限会社ドラッグストアジェイズジョイ |
| B | 医療法人社団 芝会ジェイクリニック | ドラッグジェイエム 大門駅前店 |
| C | 医療法人社団 松島会 東京芝大門内科・循環器科クリニック | まつしま薬局 |
| D | 医療法人慈英会 浜松病院 | ヘルスケアヤマゲン 芝大門店 |
| E | 大門あおぞら医院 | あおぞら薬局 大門西店 |

健康診断結果 2020年6月に受けた健康診断結果より掲載しています

| | | | | | |
|----------|-----------|-------|------------------------------|----------|-----------|
| BMI | 32.1 | 最高血圧 | 160 mmHg | 最低血圧 | 90 mmHg |
| 血清クレアチニン | 4.6 mg/dl | eGFR | 19 mL/min/1.73m ² | 尿蛋白 | (-) |
| 総コレステロール | 130 mg/dl | HDL | 35 mg/dl | LDL | 160 mg/dl |
| HbA1c | 6.8 % | 空腹時血糖 | 102 mg/dl | γGTP | 15 U/L |
| | | | | 中性脂肪(TG) | 180 mg/dl |
| | | | | ALT(GPT) | 19 U/L |

① 傷病名および検査値に注意が必要な薬品名 4件中、4件分を表示しています

| 医薬グループ | 傷病名/検査値 | 医薬グループ | 薬品名 |
|--------|----------------------|--------|-------------------------------|
| B | ←左記医療機関の付与した傷病名 | A | [先発] ジブレキサ錠 10mg |
| 診 | eGFR ≤ 30 | A | [後発] メトホルミン塩酸塩錠 250mgMT「DSEP」 |
| 診 | 血清クレアチニン値 ≥ 3.0mg/dl | E | [先発] ミカムロ配合錠 AP |
| B | ←左記医療機関の付与した傷病名 | D | [先発] アクトス錠 15 |

医薬品の添付文書に従い記載しています。

② 併用時に注意が必要な薬品名 2件中、2件分を表示しています

| 医薬グループ | 薬品名 | 医薬グループ | 薬品名 |
|--------|-------------------|--------|----------------------|
| A | [先発] リズミック錠 10mg | C | [先発] サインバルタカプセル 30mg |
| B | [先発] タンボコール錠 50mg | D | [先発] ベタニス錠 50mg |

③ 同一成分 4件中、2件分を表示しています

| 医薬グループ | 薬品名 | 成分名 |
|--------|--------------------------|-----------------|
| B | [後発] センノシド錠 12mg 「YD」 | センノシドA・Bのカルシウム塩 |
| D | [準先発] ブルゼニド錠 12mg | |
| B | [先発] マイスリー錠 10mg | ゾルピデム酒石酸塩 |
| C | [後発] ゾルピデム酒石酸塩錠 5mg 「AA」 | |

④ 同種同効 8件中、2件分を表示しています

| 医薬グループ | 薬品名 | 薬効名 |
|--------|-------------------------|------------|
| B | [後発] アゾセミド錠 30mg 「JG」 | 利尿薬 |
| D | [後発] スピロラクトン錠 25mg 「KK」 | |
| B | [先発] ルパフィン錠 10mg | 全身性抗ヒスタミン薬 |
| C | [先発] ジルテック錠 10 | |

⑤ 長期継続処方（6か月で120日以上服用） 3件中、1件分を表示しています

| 医薬グループ | 薬品名 | 薬効名 |
|--------|------------------|-------|
| A | [先発] ロキシニン錠 60mg | 解熱鎮痛薬 |

この通知はレセプトデータを元に作成されたものです。データ分析の仕様上、レセプト上の記載と紙面上の表記が異なる場合があります。お薬の件数が多い場合には、掲載しきれない場合がございます。

※医療機関と薬局をまとめたグループです。お薬名などから問い合わせ先を調べる際にご利用ください。

【別添2】



福岡県後期高齢者医療広域連合

ポリファーマシー対策通知 効果検証レポート

最終報告



2024年3月29日 (株)JMDC

通知条件

| | |
|-----------|---|
| 対象データ・期間 | ■多剤・有害事象発生リスクあり (傷病または検査値禁忌・併用禁忌・同一成分・同種同効) ・レセプトデータ : 2023年6月診療分 (2023年10月発送) ・健診データ : 2022年4月～2023年3月受診分 ■有害事象発生リスクあり (長期処方) ・レセプトデータ : 2023年1月～2023年6月診療分 |
| 対象レセプト | 医科入院外、調剤 |
| 資格区分 | 被保険者 |
| 年齢 | 75～85歳 |
| 有害事象対象薬剤 | 内用薬 (14日以上処方)、一部の非内用薬 (自己注射、筋骨格系・呼吸器・循環器・ホルモン系貼付剤、吸入剤、腔用、坐剤、目・耳鼻用剤) |
| 除外薬剤 | 非内用薬、診断薬、生薬 |
| 抽出条件 | 長期処方 (漫然投与) : 120日以上 (生活習慣病薬など慢性疾患薬は除外) 薬剤種類数 (多剤条件) : 15剤以上 後発品切替削減額 (多剤通知条件) : 0円以上 同一医療機関の禁忌 : 掲載する |
| 基本対象者除外条件 | 指定難病、HIV、末期がん (麻薬処方) |
| 任意対象者除外条件 | 認知症除外 : 無し メンタル除外 : 無し |

効果検証定義

対象レセプト期間

2023年10月～2023年12月診療分

対象レセプト

医科入院外、調剤

年齢起算月

2024年3月末時点

有害事象対象薬剤
(傷病名禁忌・併用禁忌・同一成分
・同種同効・長期処方について)

通知時に多剤・有害事象発生リスクありと判定された薬剤
※内服について、多剤は14日以上、有害事象は1日以上の処方で評価

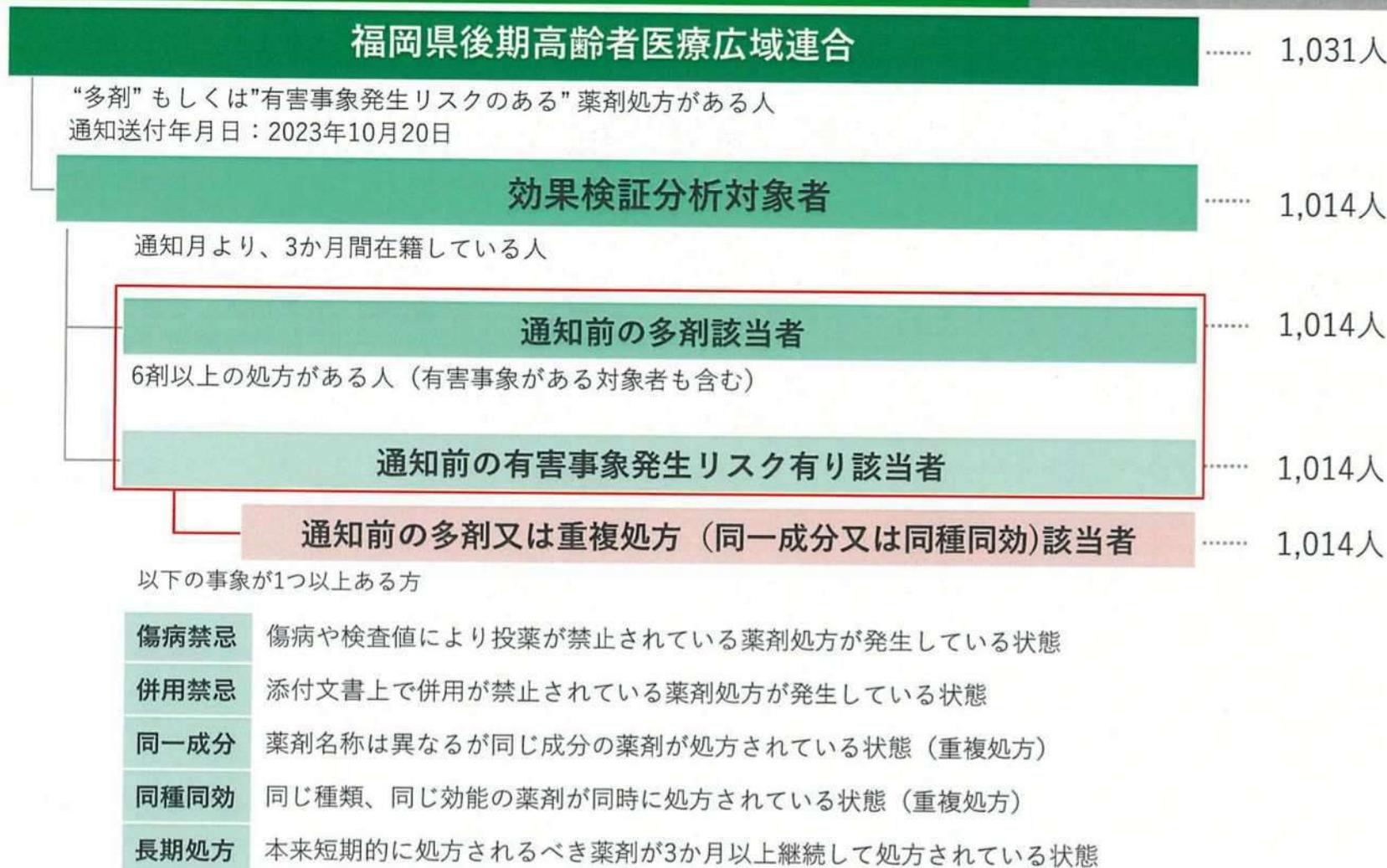
削減薬剤費

有害事象発生リスクのある薬剤が解消されて削減された薬剤の薬価
より算出(1年間分に換算)

1か月薬剤費

対象者の医薬品にかかる医療費(医科入院外、調剤)の薬剤費合計

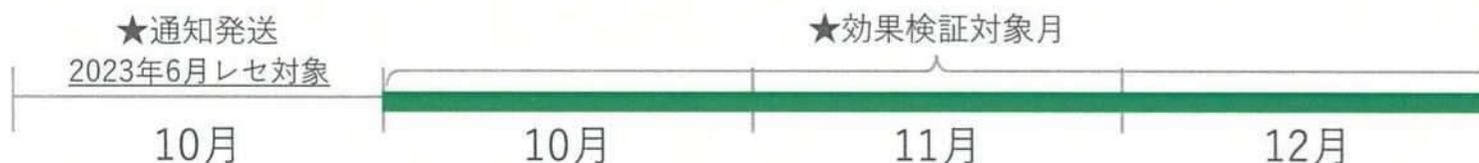
効果検証の分析対象者



※一人の被保険者に、多剤、有害事象リスクの両方がある場合は、それぞれでカウントしています。
※有害事象は、通知した薬剤について削減できているかどうかの検証をしています。新たに発生した有害事象は自然発生ですので、効果検証の対象としていません。多剤においては、通知対象者の人ごとの剤数を通知前後でカウントしています。

対象者となる薬の考え方

■効果検証の対象期間：（長期処方を考慮し）通知発送月から3か月間を経過観察



■多剤評価法：効果検証対象期間の月ごとの剤数のうち、**最大剤数の月の剤数**を使用

■有害事象評価法：通知した有害事象対象薬が、**効果検証期間を通して削除**になっているかを確認（長期処方を加味）

※同一成分・同種同効・併用禁忌に関しては、どちらか一つでも対象となる薬剤が削除されていれば有害事象の改善としています。
 ※複数の有害事象がある場合、一つでも対象となる薬剤が削除されていれば有害事象の改善としています。

| 通知前 有害事象 該当薬剤 | 10月 | 11月 | 12月 | 剤 | 剤 | 評価 |
|---------------------|-----|-----|-----|----|----|-----|
| | A | A | A | × | 改善 | 改善 |
| | | | A | × | 改善 | 改善 |
| | A | | | 改善 | × | 改善 |
| | A | B | B | × | × | 未改善 |

全体サマリ (人数・件数)

効果検証分析対象者

..... 1,014人

通知月より、3か月間在籍している方

| | | 通知対象 | 改善 | 改善率 |
|--|----------|--------|--------|-------|
| 多剤※1 通知前が多剤の人の剤数を検証 | | 1,014人 | 529人 | 52.2% |
| 有害事象発生リスク有り 通知対象となった薬剤のみで検証 | 人数 ※2 | 1,014人 | 596人 | 58.8% |
| | 件数 ※3 | 6,243件 | 1,823件 | 29.2% |
| 重複処方該当者 通知対象となった重複薬剤の削減で効果とする | | 1,007人 | 507人 | 50.3% |
| 多剤又は重複処方該当者 通知対象となった重複薬剤または薬剤数の削減で効果とする | | 1,014人 | 692人 | 68.2% |

集計定義

※1 多剤条件に該当する人数。通知時の薬剤数より一剤以上減少した場合改善とする

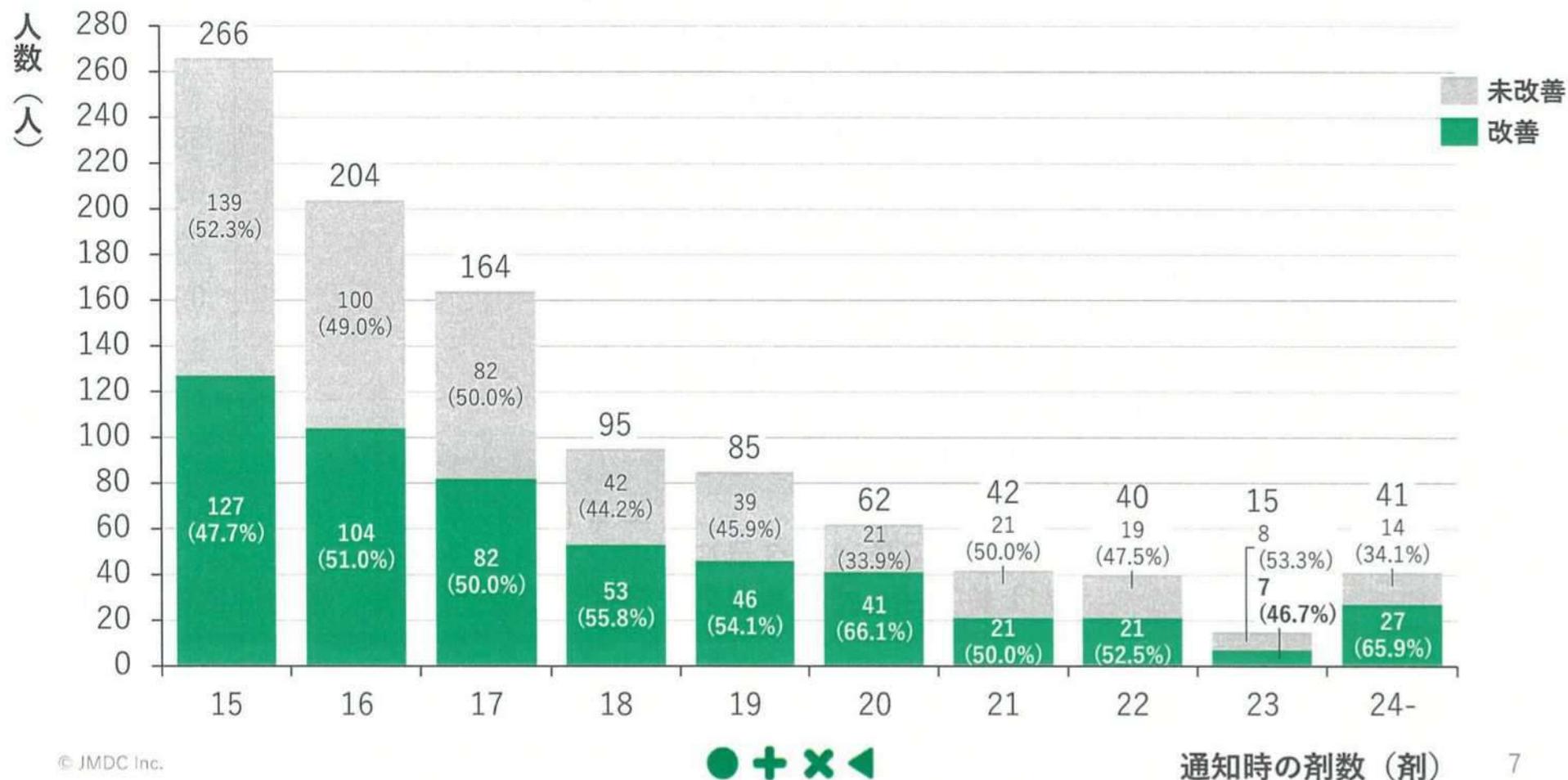
※2 有害事象発生リスクが一つ以上ある人数、通知後は一つでも改善が見られた場合改善とする

※3 有害事象発生リスクのある薬剤（重複・併用禁忌は組み合わせ）の件数

多剤

通知時の薬剤数より一剤以上薬剤が減少した者の割合は下記の通りです。一番改善した割合の多かった剤数は20剤の66.1%となっています。

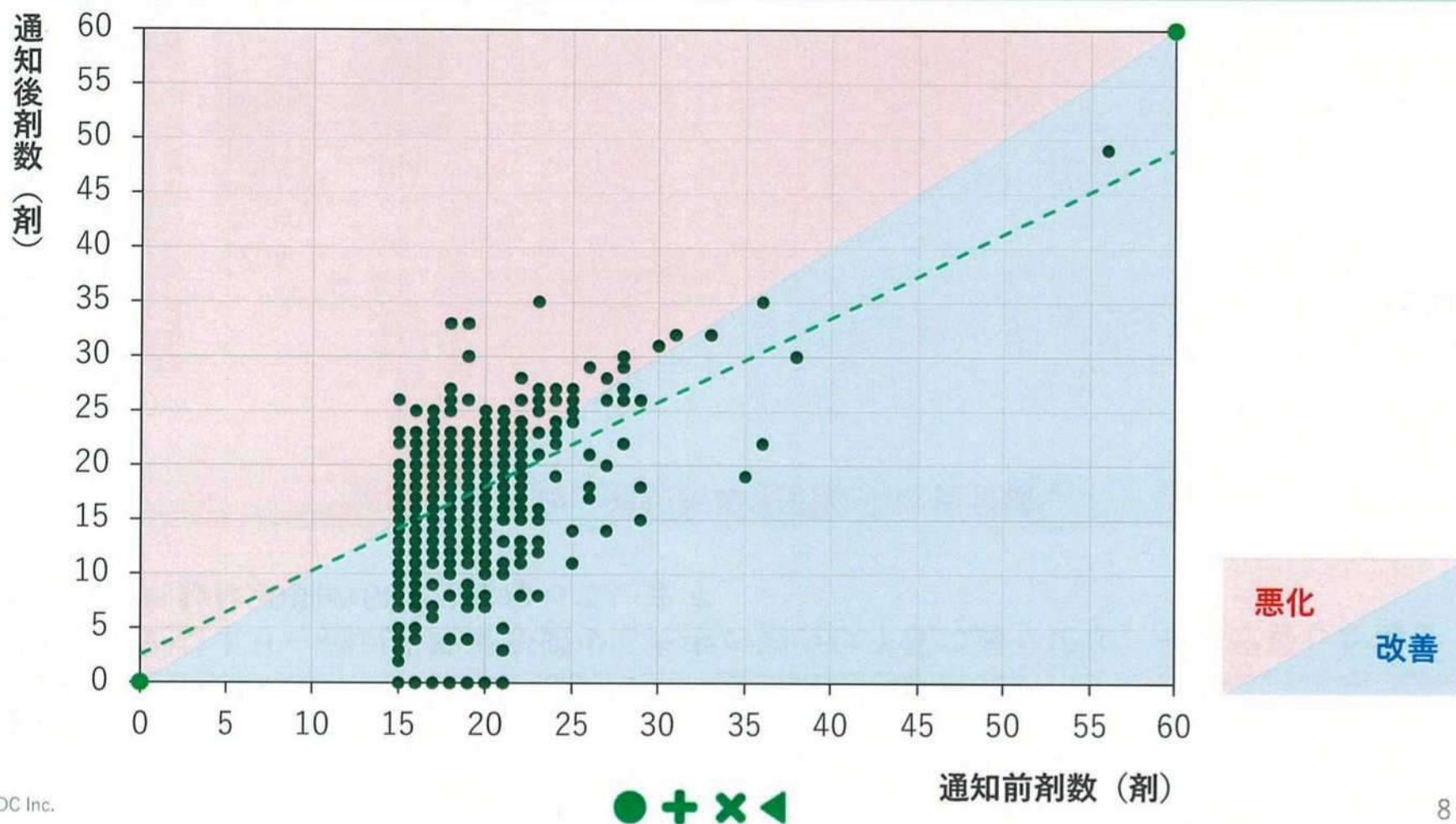
多剤該当者 通知時の薬剤数別改善者数



多剤

横軸に通知前剤数、縦軸に通知後剤数として散布図を示しました。
通知前に比べ剤数が悪化していると赤、改善していると青の領域となり近似線が青の領域に傾き改善傾向にあることが分かります。

多剤該当者 通知前後での剤数別変化量分布



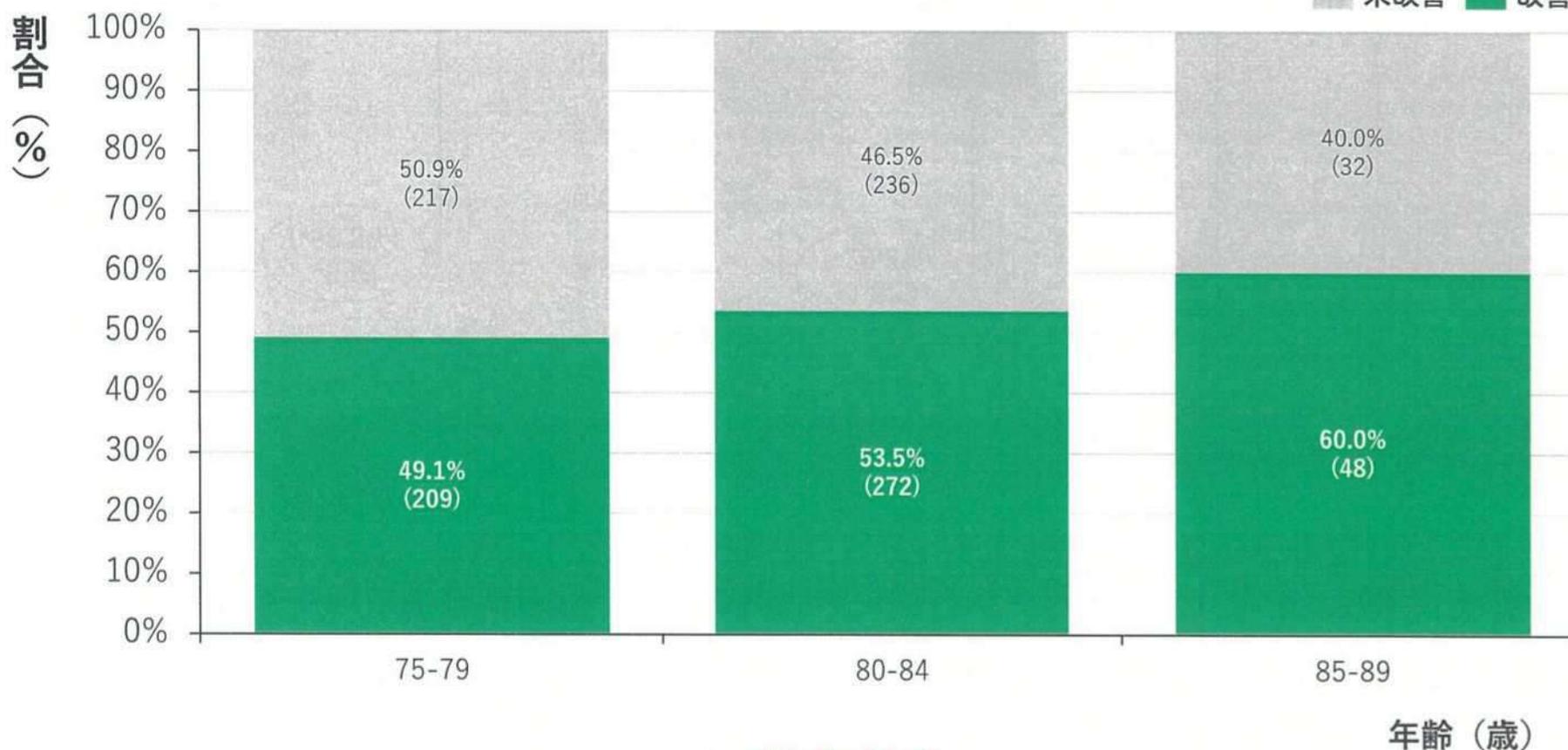
多剤 年齢別

年齢別で多剤改善者の割合を調べました。85-89歳が一番多く60.0%で、次いで80-84歳が53.5%となっています。

年齢別多剤該当者の改善者数

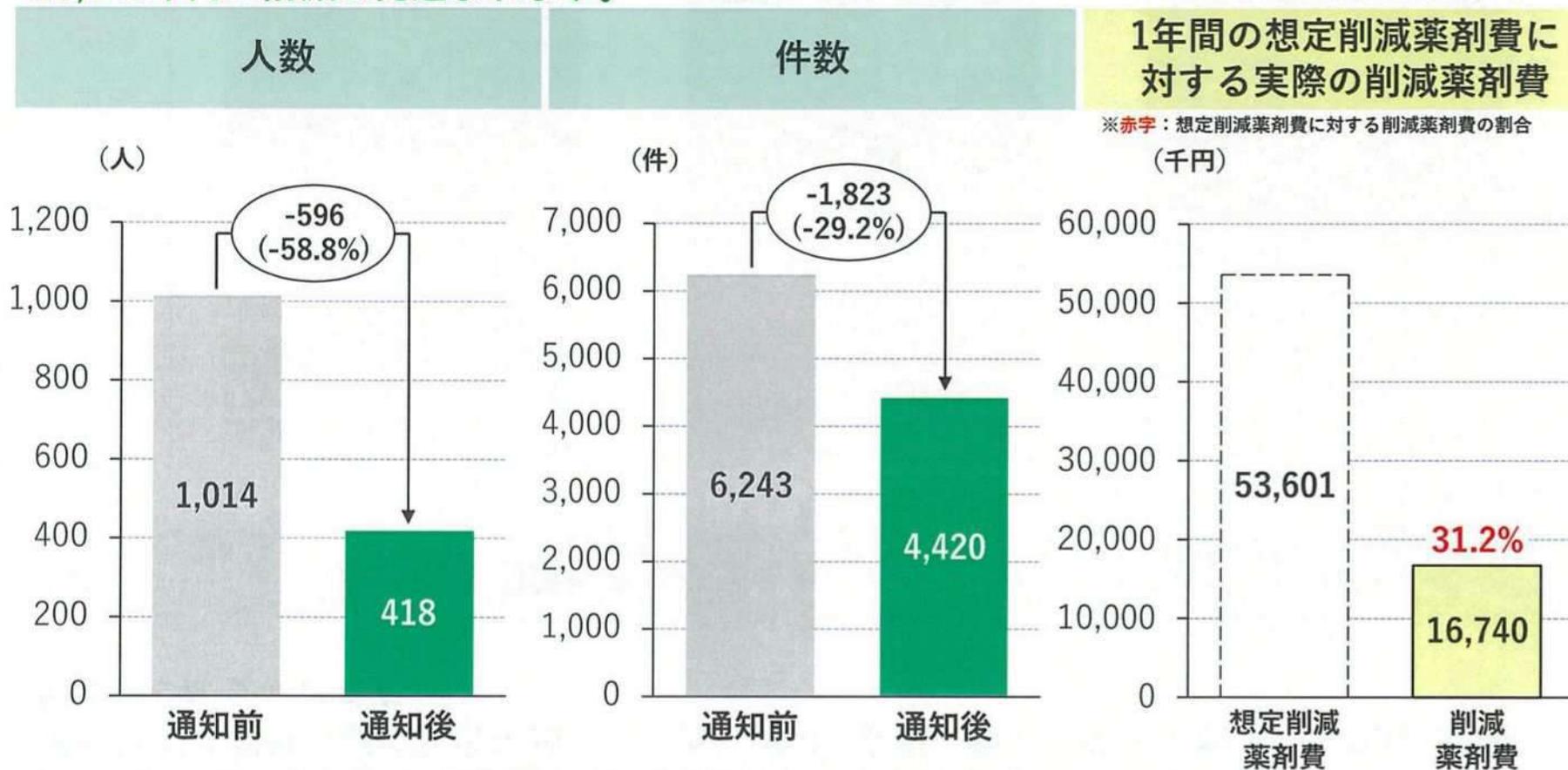
529人

(多剤改善該当者数)



有害事象 全事象 (傷病または検査値禁忌、併用禁忌、同一成分、同種同効、長期処方)

有害事象リスクの発生状況について、通知前後での状況を以下に示します。改善した人は58.8%となっており、件数では29.2%の改善が見られました。医療費適正化の観点では、16,740千円の削減が見込まれます。



※赤字：想定削減薬剤費に対する削減薬剤費の割合

※件数と1年間の想定削減薬剤費に対する実際の削減薬剤費では、2つ以上の有害事象に関連している薬剤をそれぞれでカウントされています。

※1年間の想定削減薬剤費に対する実際の削減薬剤費は、併用禁忌・同一成分・同種同効において両剤削減された場合は、

実際の削減薬剤費の方が想定削減薬剤費より大きくなる可能性がございます。

※1年間の想定削減薬剤費に対する実際の削減薬剤費の計算方法は、処方日数の影響を受けないよう（内服）1日薬価×30日×12か月で計算してあります。

外用も同じく計算されているため、臨床の薬剤費より多めに計算されていることをご了承いただきますようお願い申し上げます。

有害事象 全事象 年齢別分析

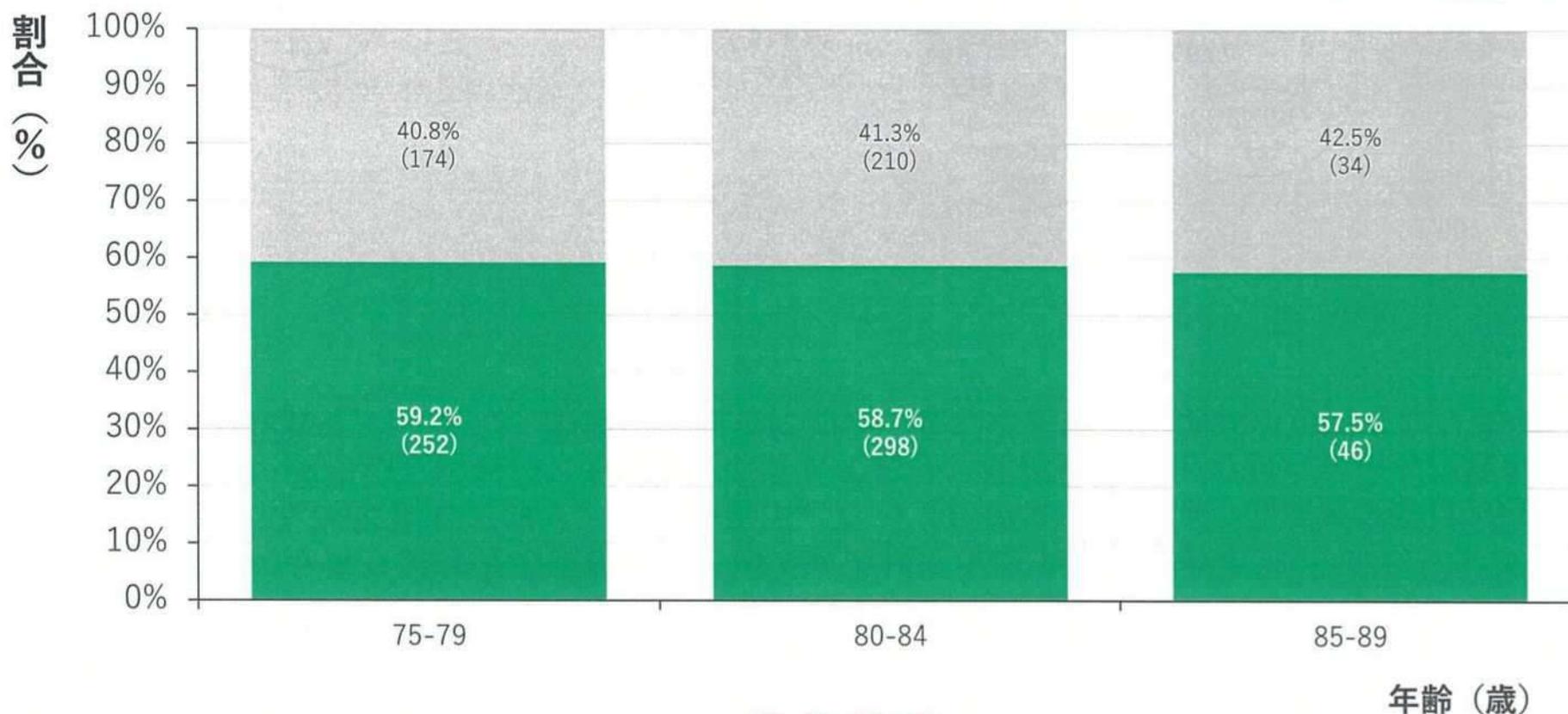
年齢別で有害事象改善者の割合を調べました。75-79歳が一番多く59.2%で、次いで80-84歳が58.7%となっています。

年齢別有害事象該当者 通知後の有害事象改善者数

596人

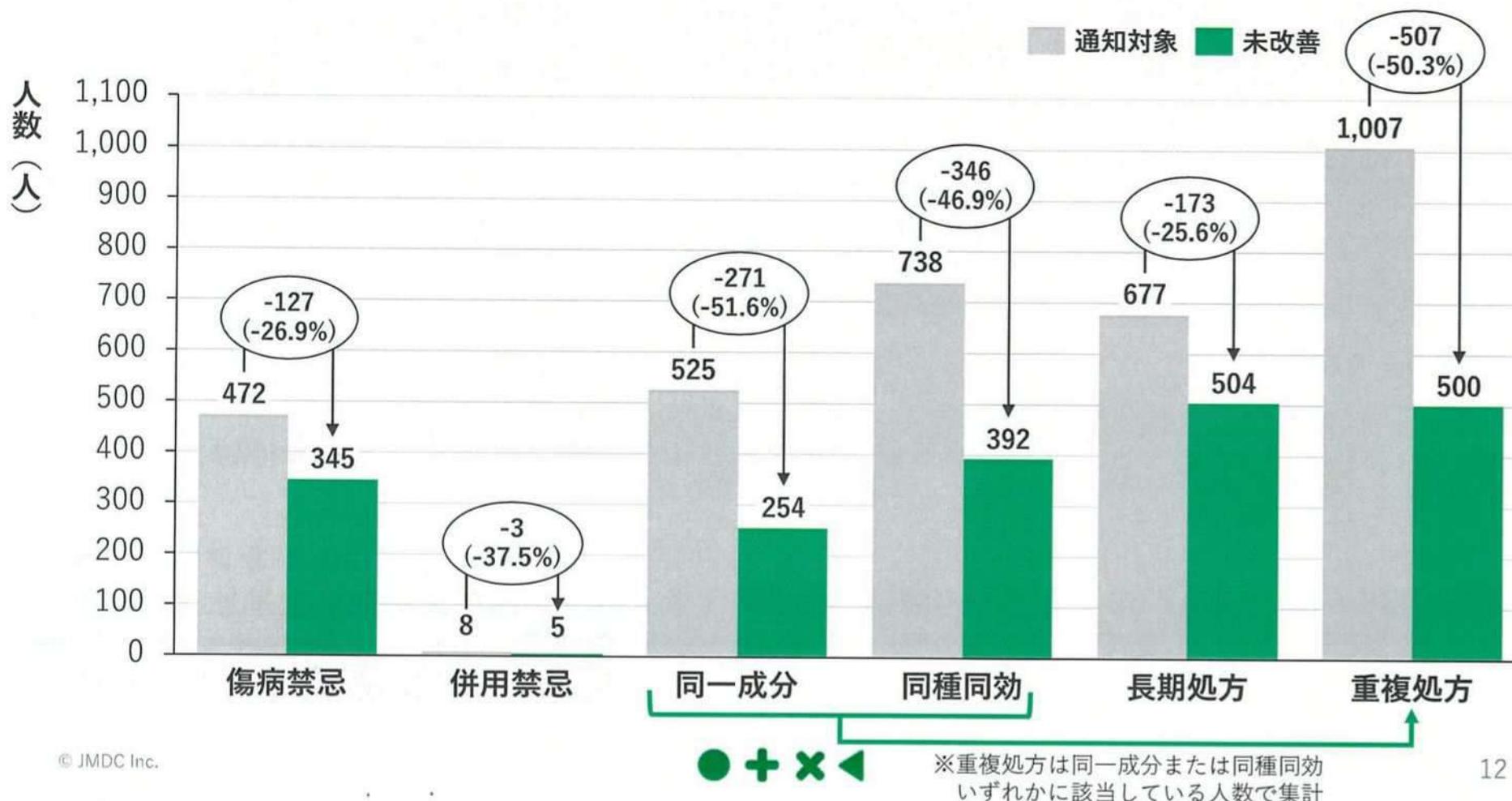
※複数の有害事象がある場合、どれか一つでも改善した人を有害事象改善該当者数としてカウントする。

■ 未改善 ■ 改善



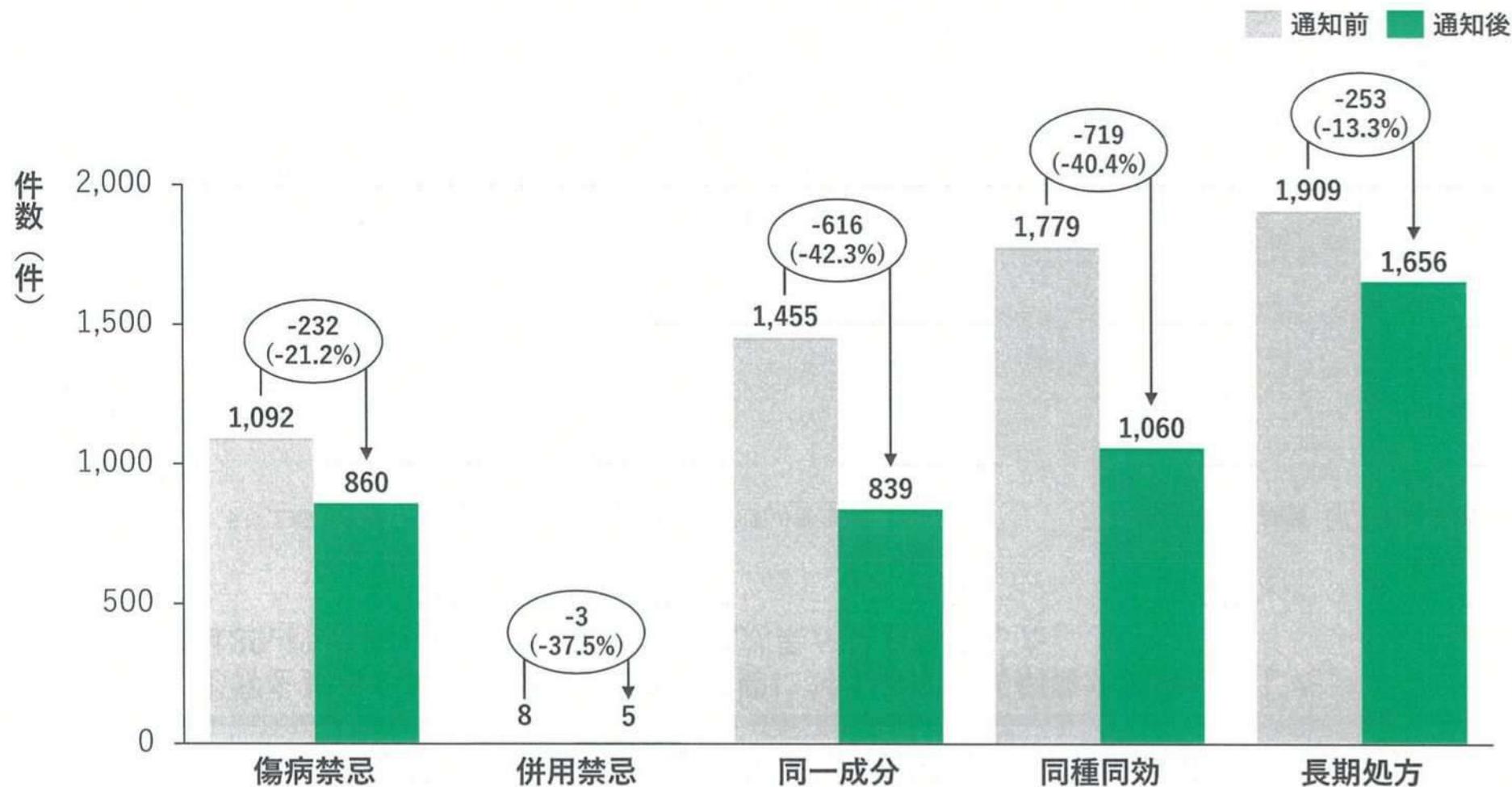
有害事象 個別事象別 <人数>

有害事象別のリスク保有者の通知前後での人数の状況を以下に示します。
 重複処方とは50.3%改善しており、高い改善率となっています。その他、傷病名禁忌は26.9%、
 改善しにくい長期処方においても25.6%改善しており、医療費適正化の観点からも複数の有
 害事象を適正化することで、副作用の回避に加え、更なる医療費の削減が可能となります。



有害事象 個別事象別 <件数>

有害事象別のリスク保有者の通知前後での件数の状況を以下に示します。
一番改善したのは、同一成分で42.3%、次いで同種同効の40.4%でした。



有害事象 個別事象別 <1年間の想定削減薬剤費に対する削減薬剤費>

医療費の影響を見るため、1年間の想定薬剤費に対する削減薬剤費を調査しました。
同種同効は89.4%、同一成分は52.4%の削減効果が見られました。

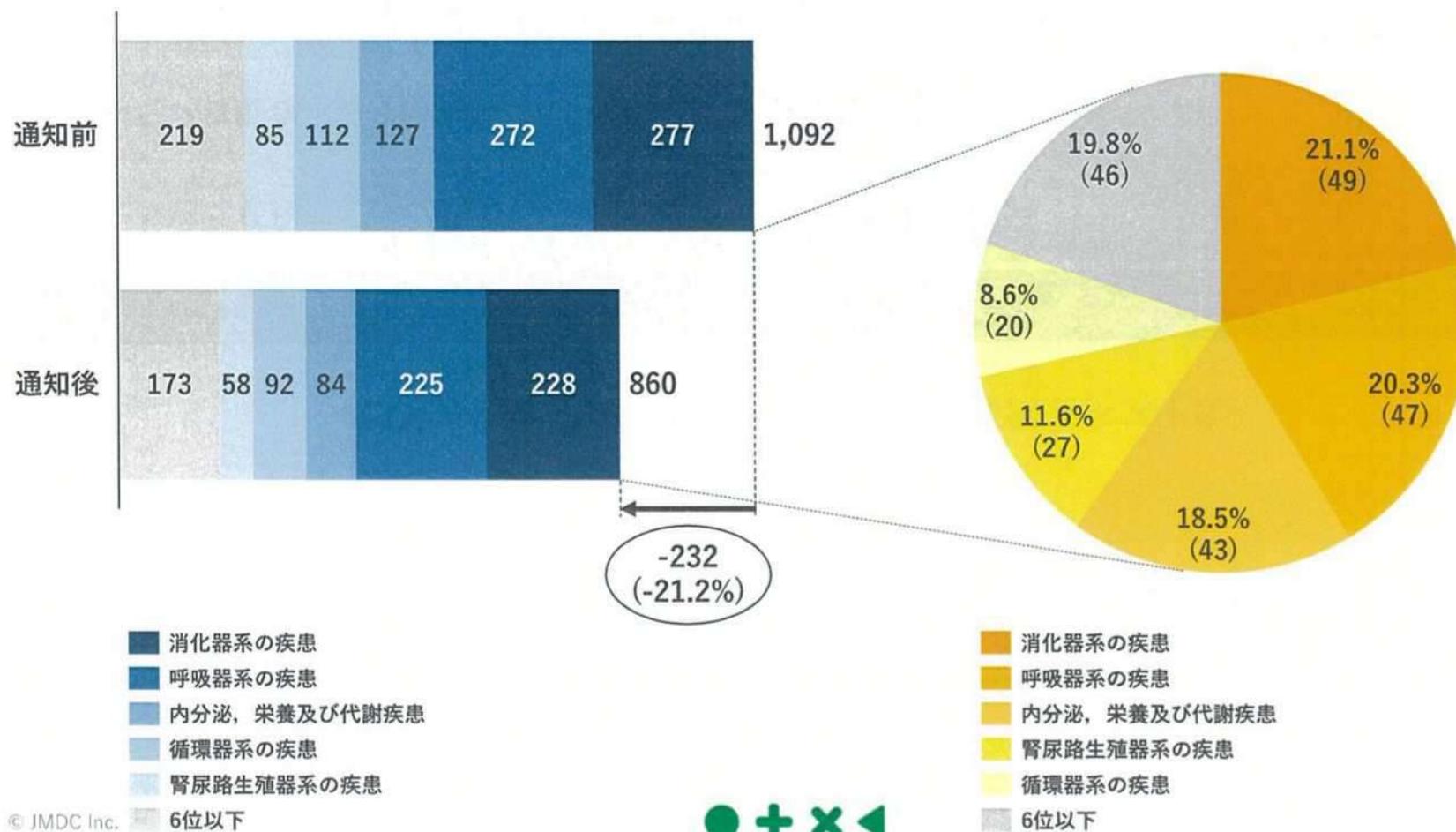


有害事象 事象別（傷病名禁忌）

傷病名禁忌の改善率は21.2%でした。そのうち消化器系の疾患（49件）が一番多く改善しており、次いで呼吸器系の疾患（47件）となっています。

■ 禁忌病名と件数

■ 改善された禁忌病名と件数



有害事象 事象別（傷病名禁忌）

傷病禁忌で一番多く改善された組み合わせは、消化性潰瘍が禁忌病名のカロナール錠500です。次いで気管支喘息が禁忌病名のレンドルミンD錠0.25mgです。

<改善された禁忌病名と薬剤の組合せ事例 ベスト5>

| 医薬品名 | 禁忌病名 | 件数 | 改善件数 |
|-----------------|-------|----|------|
| カロナール錠500 | 消化性潰瘍 | 13 | 7 |
| レンドルミンD錠0.25mg | 気管支喘息 | 13 | 5 |
| プレドニゾン錠「タケダ」5mg | 精神病 | 5 | 5 |
| レンドルミン錠0.25mg | 気管支喘息 | 11 | 4 |
| センノシド錠12mg「サワイ」 | 電解質失調 | 9 | 4 |

有害事象 事象別（併用禁忌）

併用禁忌で一番多く改善された組み合わせは、アスパラカリウム錠300mgとセララ錠50mgです。次いでクエン酸第一鉄Na錠50mg「サワイ」とタンニン酸アルブミン「ファイザー」原末です。

<減薬された薬剤の種類と事例>

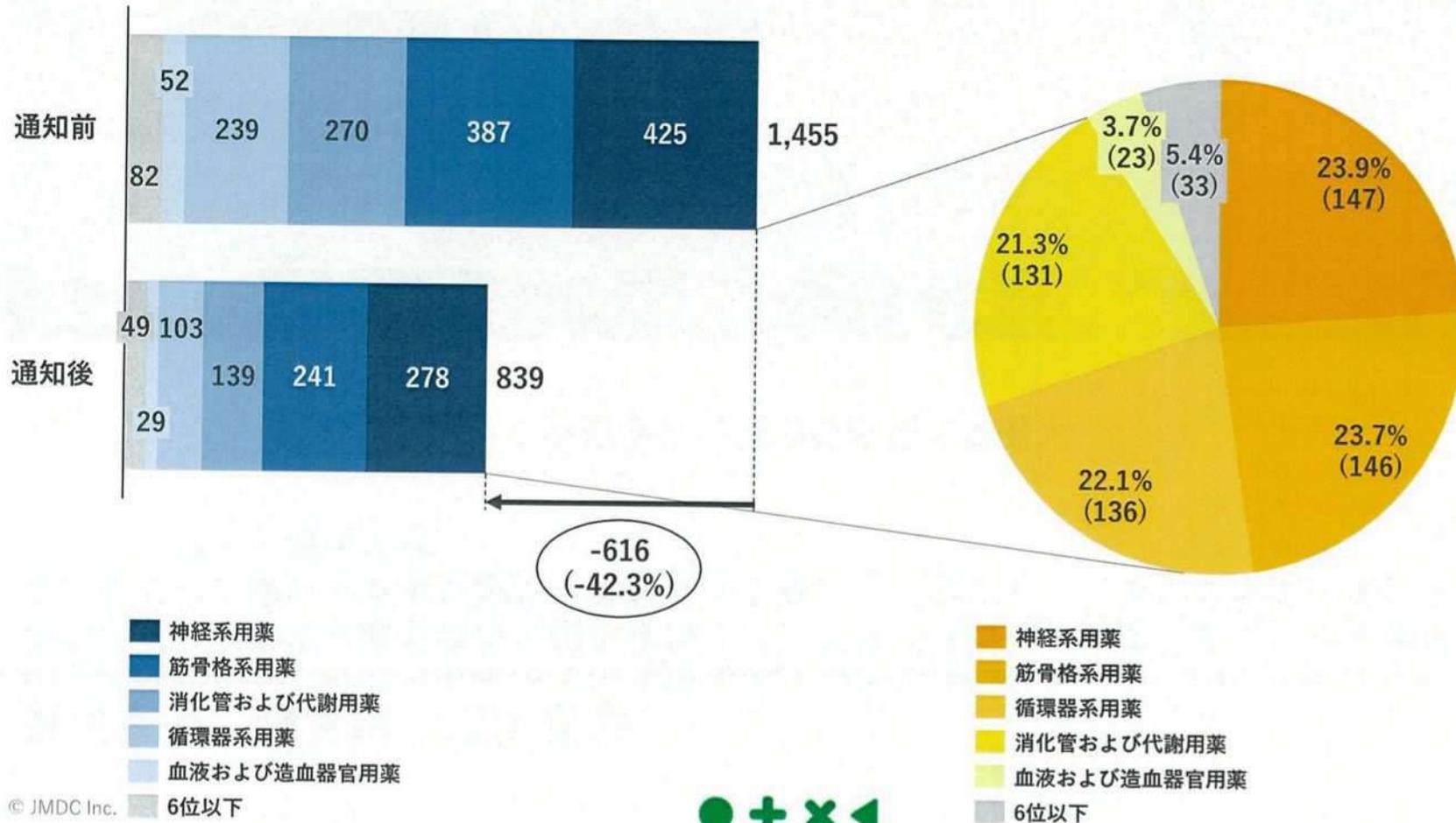
| 医薬品名 | 相手医薬品名 | 同一医療機関 | 件数 | 改善件数 |
|------------------------|---------------------|--------|----|------|
| セララ錠50mg | アスパラカリウム錠300mg | 同一 | 2 | 1 |
| タンニン酸アルブミン「ファイザー」原末 | クエン酸第一鉄Na錠50mg「サワイ」 | 同一 | 1 | 1 |
| アメジニウムメチル硫酸塩錠10mg「サワイ」 | サインバルタカプセル20mg | 同一 | 1 | 1 |
| | | | | |
| | | | | |

有害事象 事象別 <同一成分>

同一成分の改善率は42.3%でした。そのうち神経系用薬（147件）が一番多く改善しており、次いで筋骨格系用薬（146件）となっています。

■薬剤の種類と件数

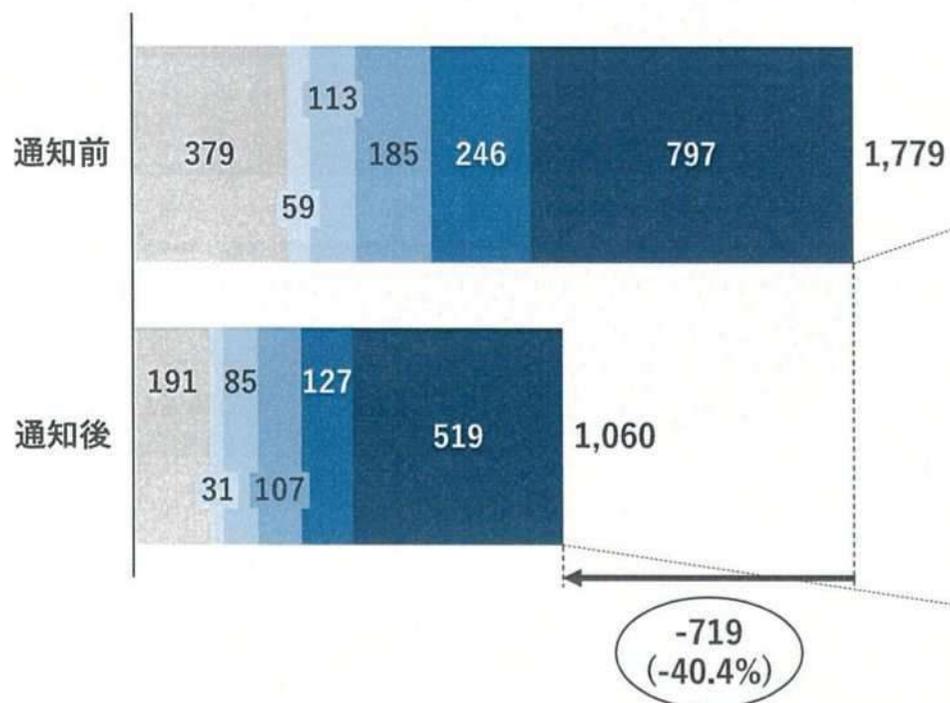
■減薬された薬剤の種類と件数



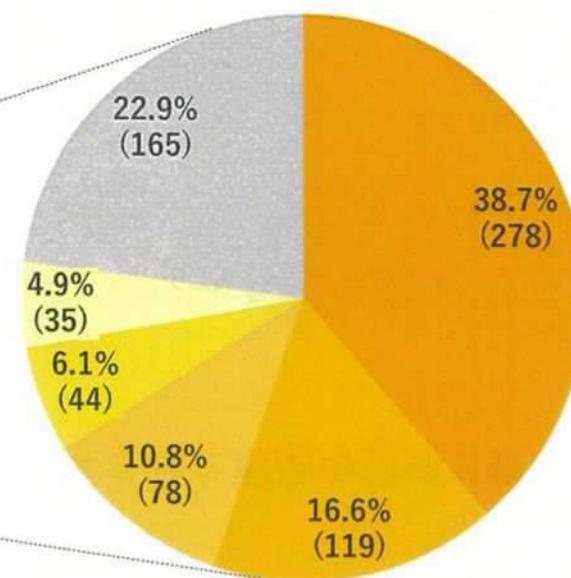
有害事象 事象別 <同種同効>

同種同効の改善率は40.4%でした。そのうち非バルビツール酸系単味剤（278件）が一番多く改善しており、次いで筋骨格系用薬（119件）となっています。

■薬剤の種類と件数



■減薬された薬剤の種類と件数



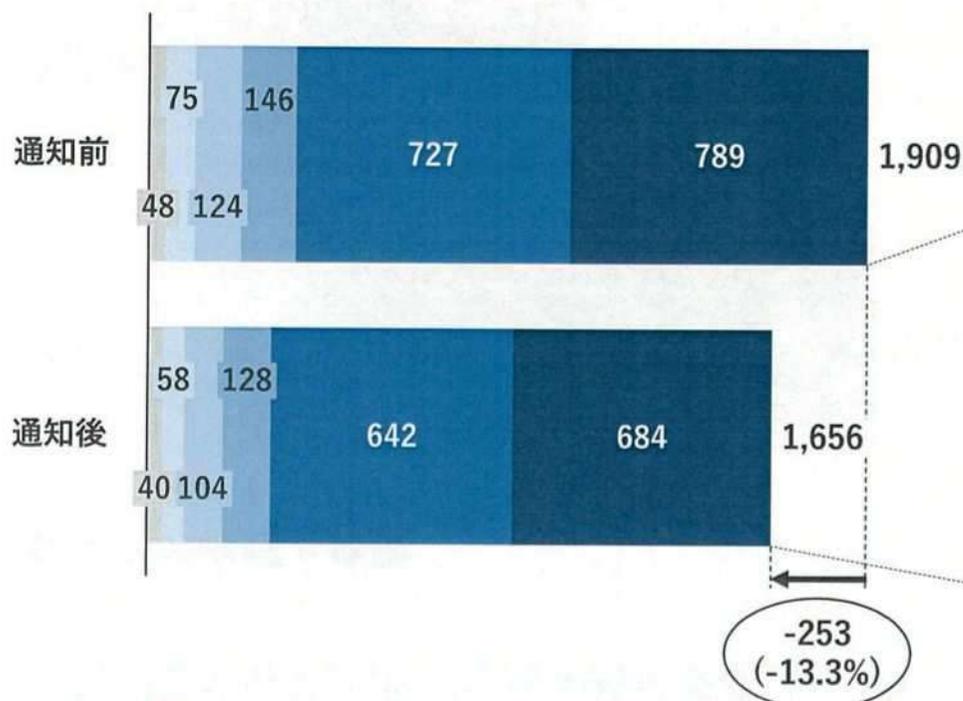
- 非バルビツール酸系単味剤
- 筋骨格系用薬
- 抗不安薬 (マイナートランキライザー)
- 抗血栓薬
- プロトンポンプ阻害薬
- 6位以下

- 非バルビツール酸系単味剤
- 筋骨格系用薬
- 抗不安薬 (マイナートランキライザー)
- 他のすべての潰瘍治療薬
- 全身性抗ヒスタミン薬
- 6位以下

有害事象 事象別 <長期処方>

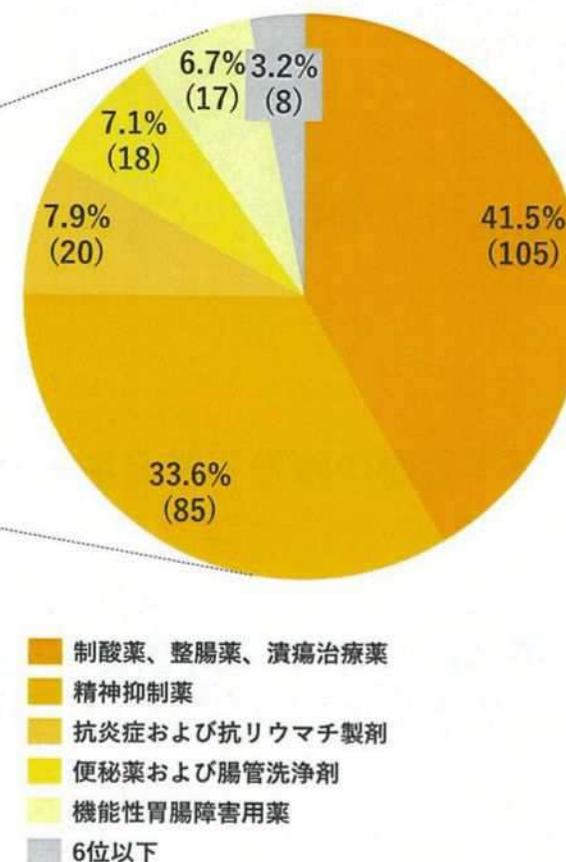
長期処方の改善率は13.3%でした。そのうち制酸薬、整腸薬、潰瘍治療薬（105件）が一番多く改善しており、次いで精神抑制薬（85件）となっています。

■薬剤の種類と件数



- 制酸薬、整腸薬、潰瘍治療薬
- 精神抑制薬
- 便秘薬および腸管洗浄剤
- 抗炎症および抗リウマチ製剤
- 機能的胃腸障害用薬
- 6位以下

■減薬された薬剤の種類と件数





J M D C

